

荘銀かねやま絆の森2014

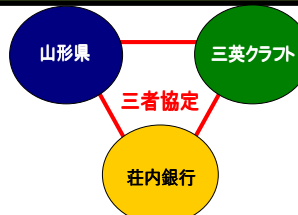
株式会社 荘内銀行

【荘銀かねやま絆の森の概要】

- ◆設置場所: 山形県最上郡金山町大字金山字猪の沢
- ◆協定期間: 平成22年4月1日～平成27年3月31日(5年間)
- ◆協定締結者: 山形県 (情報提供・備品・指導等における支援)

有限会社 三英クラブ (活動場所・備品・指導等における支援)
株式会社 荘内銀行 (森づくり活動の実践)

- ◆目的: 二酸化炭素の削減や生物多様性の保全に寄与することに加え、参加者の自然環境への興味と関心を醸成するとともに、交流の場として活用することで、行内そして地域とのコミュニケーションの活性化を図る。



◆ 活動計画

プログラム (予定)	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
芽生えの森	開山式 植林		下刈り	下刈り	
育みの森		裾枝打ち つる切り		裾枝打ち つる切り	
収穫の森		林産物体験			林産物体験
癒しの森			自然観察		開山式

荘銀かねやま絆の森2014 春

(山形ゼロックス株式会社との合同森づくり企画第2弾!)

開催日: 平成26年4月5日(土)

参加人数: 60名

内容: 皆伐見学・体験/製材所見学/
木工クラブ体験/雪山ハイク



96年杉の存在感に圧倒!



伐採した杉と一緒に記念撮影



かんじきで雪山ハイク!



伐採の瞬間!



輪切り・枝打ち体験



今回の活動で 2010年に森づくりをスタートして植樹→下刈りや裾枝打ちなどの育林活動→皆伐→製材→身近な生活品への変化という金山杉の一生を体験することができました。



金山森林組合さまで製材現場見学!

間伐材を使ったマイ箸・フランジャー作り

どんどん積みあがっていきます

子供たちから金山町長へ奇贈!

ピックアップ★ピックアップ

10月に皇太子殿下がご臨場され、第38回全国育樹祭が金山町遊学の森で開催されました! 春の森づくりで作成したフランジャーは、育樹祭で町内美化に活用されました!



フリーマガジン「gatta!」に、企業が取り組む森づくり活動について、当行の取組が紹介されました!



地方銀行64行で組織される森づくり活動の情報ネットワーク「日本の森を守る地方銀行有志の会」の理事行に就任。今後、銀行間連携も視野に入れ、活動を展開します!

荘銀かねやま絆の森2014 秋

開催日: 平成26年11月1日(土)

参加人数: 270名

内容: 当行森づくり活動紹介/記念講演

なぜ銀行が森づくり?

- 森づくりによる二酸化炭素の吸収削減や生物多様性などの環境保全
- 行員の銀行内外におけるコミュニケーションの醸成や関係強化
- 1次産業である地域の林業や畜産を、6次産業化に向けた知識やノウハウの提供

活動の様子① (2010年秋)

- 金山杉の苗木1,500本を植樹

5年間の森づくり活動を振り返って...

- 森づくりを通じて蓄積した顧客官連携の経験や互いの持つ個性やノウハウを持ち寄ることで、新しい森づくりの在り方を創り出す可能性
- 企業間の連携した森づくりの可能性
- 地域課題の解決・地域活性化に繋がる森づくりの必要性
- 森づくりを原点としながら、様々なステークホルダーが持つ地域課題の解決、地域活性化への取組



←講師: 藤谷浩介氏(日本総合研究所主席研究員)
里山資本主義の地域活性化について、事例を交えながらお話しいただきました。

当日は当行役員をはじめ、多くの行政職員・林業関係者・県民の皆様にお集まりいただき、里山(森林)資源の地域活性化への活用について考える機会となりました。

今年度の活動を振り返っての感想

5年間取り組んできた当行の森づくり活動では、私ども単体の活動だけでなく、森づくり活動を通して多くの企業や林業関係者、行政等とコミュニケーションの輪を広げることができました。森づくり活動には、山形県の豊かな自然環境を保全し、次代に繋いでいくという目的がありますが、この取り組みで感じたことは、地元の民間企業、そして特に私ども金融機関は、森づくり(森林資源)を起点として、いかに地域課題の解決、地域活性化へ繋げていけるかが重要であるということです。来年度以降も取り組みを継続していき、地域との繋がりをより一層深められるような活動へステップアップしていきたいと思います。